

支承損傷に伴う牛深ハイヤ大橋の恒久対策技術検討委員会の 設置について

熊本県農林水産部水産局
漁港漁場整備課

牛深ハイヤ大橋は、牛深漁港に架かる橋長 883 m の 7 径間連続鋼床版曲線箱桁橋で、平成 9 年に供用開始したものです。

これまで、水産物の輸送をはじめ、住民の生活や観光などを支える道路として重要な役割を果たすとともに、牛深地域のシンボルとして親しまれてきましたが、令和 3 年 8 月に支承の損傷が確認され、通行止めになっています。熊本県は、早期の通行再開に向け、応急対策工事を進めるとともに、恒久対策の検討のために全支承の詳細調査を実施してきましたが、原因の特定に至っていません。

今後、牛深ハイヤ大橋が、長期に亘り安全で円滑に通行し続けられるよう、「支承損傷に伴う牛深ハイヤ大橋の恒久対策技術検討委員会」を設置し、損傷の原因究明及び恒久対策の検討等について、高度な専門的知識を有する学識経験者からの指導・助言を頂くものです。